

◆ 平成30年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 はとやま環境フォーラム

21A-25

代表者：代表理事 愛場謙嗣

URL : <http://4279420.at.webry.info/>

1. 活動が必要とされた状況

アマチュアカメラマンのマナーの悪さが指摘される中、写真学校の授業を通して、写真撮影の楽しさ・屋外フィールドでのマナー・生物多様性の基礎知識を包括的に学んでもらうことで、マナーを理解した、共に里山を育む仲間を育成する必要があった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

①年4回の写真学校の開校

5月19日(土)、7月21日(土)、9月15日(土)、11月17日(土) 参加者数延べ51人

②地元はとやま祭「文化祭」でブース内写真パネル展示 11月3日(土)、写真学校参加者の作品の展示

③「熊井の森カレンダー」の作成

A4サイズカラーで300部印刷、地元及び関係者に配布

④広報紙「環境フォーラムNEWS」第19号を発行 3月10日、3000部発行、カレンダー発行の広報を行う。



3. 活動の成果

①写真学校は講師謝礼の補填のため、参加者1000円と

した。参加者数は各定員20人には達しなかったが、概ね、当初の講師料額はお渡しすることができた。「次回、有料でも参加したい」との声が多数寄せられ、自立した活動に向けての足掛かりができた。

②「熊井の森カレンダー」は、私たちが環境保全活動を行っている熊井地区の会合で区長さんから配布してもらったところ、「素晴らしい。熊井の森の良さがわかった」「次回は自分も写真学校に参加したい」との声が数人から挙がり、カレンダーの作成は予想以上の反響であった。

4. 今後に残された課題



写真撮影と里山保全を絡めた「写真学校」企画（年4回開校）は、3年目になる来年度は、完全自主企画で試みたい。受講者には一般参加企画の「ハイキング+写真」イベント（助成金申請中）の運営協カスタッフにもなってもらうつもりである。「カレンダー」という形になるものが参加動機として大きかったと思う。ただしその制作経費をどうするかが課題である。